

教務・学部事務室関係資料

1 大学の組織

○本学の学部・学科組織は、次の通り 8 学部 20 学科より構成されています。

文 学 部	日本文学科／中国文学科／英米文学科／教育学科／ 書道学科／歴史文化学科
経 済 学 部	社会経済学科／現代経済学科
外 国 語 学 部	中国語学科／英語学科／日本語学科
法 学 部	法律学科／政治学科
国 際 関 係 学 部	国際関係学科／国際文化学科
経 営 学 部	経営学科
スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科／健康科学科／看護学科
社 会 学 部	社会学科

○大学を卒業後、さらに勉学を志す学生に対して、次の教育課程を設置しています。

大 学 院	文 学 研 究 科	日 本 文 学 専 攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
		中 国 学 専 攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
		英 文 学 専 攻	＜修士課程＞
		書 道 学 専 攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
		教 育 学 専 攻	＜修士課程＞
	経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
	法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
		政 治 学 専 攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
	外 国 語 学 研 究 科	中国言語文化学専攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
		英 語 学 専 攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
		日本言語文化学専攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
	アジア地域研究科	アジア地域研究専攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
	経 営 学 研 究 科	経 営 学 専 攻	＜博士課程前期課程・博士課程後期課程＞
	スポーツ・健康科学 研究科	スポーツ・健康科学 専攻	＜修士課程＞

2 2026年度 所属別教員数一覧

2026年5月1日現在

学部・学科		専任					専任計	非常勤	合計
		教授	准教授	講師	助教	助手			
文学部	日本文学科	8	3	2	1	0	14	36	50
	中国文学科	4	2	2	1	0	9	15	24
	英米文学科	7	4	0	0	0	11	54	65
	教育学科	15	7	5	0	0	27	42	69
	書道学科	5	1	3	1	0	10	27	37
	歴史文化学科	8	0	0	1	0	9	25	34
	小計	47	17	12	4	0	80	199	279
経済学部	社会経済学科	11	5	3	1	0	20	24	44
	現代経済学科	9	4	2	0	0	15	15	30
	小計	20	9	5	1	0	35	39	74
外国語学部	中国語学科	8	3	2	1	0	14	40	54
	英語学科	12	4	8	1	0	25	83	108
	日本語学科	5	2	1	1	0	9	29	38
	小計	25	9	11	3	0	48	152	200
法学部	法律学科	13	4	0	0	0	17	49	66
	政治学科	13	2	1	1	0	17	25	42
	小計	26	6	1	1	0	34	74	108
国際関係学部	国際関係学科	9	4	0	1	0	14	16	30
	国際文化学科	6	4	1	0	0	12	13	25
	小計	15	8	1	1	0	26	29	55
経営学部	経営学科	20	7	2	0	0	29	23	52
	小計	20	7	2	0	0	29	23	52
スポーツ・健康科学部	スポーツ科学科	15	8	1	0	0	24	28	52
	健康科学科	15	3	1	1	6	26	8	34
	看護学科	11	6	2	6	11	36	9	45
	小計	41	17	4	7	17	86	45	131
社会学部	社会学科	11	7	3	1	0	22	40	62
	小計	11	7	3	1	0	22	40	62
合計		205	80	39	18	17	360	601	961

※専任教員数には、特任教授、特任准教授、特任講師、特任助手がそれぞれ含まれます。

3 2026年度 学生数一覧

2026年5月1日現在

所属組織	異動	1 年		1 年 集計	2 年		2 年 集計	3 年		3 年 集計	4 年		4 年 集計	総計
		男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性		
文学部 日本文学科	休学				1		1				5	1	6	7
	通常	81	97	178	107	100	207	84	102	186	83	79	162	733
文学部 日本文学科 集計		81	97	178	108	100	208	84	102	186	88	80	168	740
文学部 中国文学科	休学	1		1	1		1				1		1	3
	通常	55	33	88	28	13	41	18	6	24	25	19	44	197
文学部 中国文学科 集計		56	33	89	29	13	42	18	6	24	26	19	45	200
文学部 英米文学科	休学	1		1	1		1							2
	通常	95	55	150	83	56	139	49	48	97	49	34	83	469
文学部 英米文学科 集計		96	55	151	84	56	140	49	48	97	49	34	83	471
文学部 教育学科	休学					1	1				1		1	2
	通常	59	61	120	79	67	146	88	64	152	75	56	131	549
文学部 教育学科 集計		59	61	120	79	68	147	88	64	152	76	56	132	551
文学部 書道学科	休学					3	3		1	1		1	1	5
	通常	12	53	65	13	52	65	9	48	57	11	53	64	251
文学部 書道学科 集計		12	53	65	13	55	68	9	49	58	11	54	65	256
文学部 歴史文化学科	休学					1	1	1	1	2				3
	通常	93	38	131	84	45	129	60	34	94	71	31	102	456
文学部 歴史文化学科 集計		93	38	131	84	46	130	61	35	96	71	31	102	459
経済学部 社会経済学科	休学				2	1	3	1		1	2		2	6
	通常	167	35	202	210	36	246	232	33	265	203	30	233	946
経済学部 社会経済学科 集計		167	35	202	212	37	249	233	33	266	205	30	235	952
経済学部 現代経済学科	休学				4		4				3		3	7
	通常	143	29	172	180	24	204	155	21	176	145	28	173	725
経済学部 現代経済学科 集計		143	29	172	184	24	208	155	21	176	148	28	176	732
外国語学部 中国語学科	休学										1	2	3	3
	通常	38	35	73	34	27	61	18	26	44	26	35	61	239
外国語学部 中国語学科 集計		38	35	73	34	27	61	18	26	44	27	37	64	242
外国語学部 英語学科	休学	1		1	4	3	7	3	1	4	5	1	6	18
	通常	169	105	274	144	117	261	115	94	209	132	100	232	976
外国語学部 英語学科 集計		170	105	275	148	120	268	118	95	213	137	101	238	994
外国語学部 日本語学科	休学				2	1	3				1		1	4
	通常	34	40	74	31	38	69	29	15	44	26	19	45	232
外国語学部 日本語学科 集計		34	40	74	33	39	72	29	15	44	27	19	46	236
法学部 法律学科	休学	1	1	2	6	1	7	1		1	5	1	6	16
	通常	143	85	228	194	92	286	150	69	219	175	64	239	972
法学部 法律学科 集計		144	86	230	200	93	293	151	69	220	180	65	245	988
法学部 政治学科	休学	2		2	1		1	1		1	3		3	7
	通常	118	31	149	161	49	210	109	23	132	123	23	146	637
法学部 政治学科 集計		120	31	151	162	49	211	110	23	133	126	23	149	644
国際関係学部 国際関係学科	休学					1	1	1	1	2	2	1	3	6
	通常	74	47	121	74	35	109	68	45	113	72	51	123	466
国際関係学部 国際関係学科 集計		74	47	121	74	36	110	69	46	115	74	52	126	472
国際関係学部 国際文化学科	休学				2	1	3				2	1	3	6
	通常	53	70	123	52	53	105	43	45	88	37	31	68	384
国際関係学部 国際文化学科 集計		53	70	123	54	54	108	43	45	88	39	32	71	390
経営学部 経営学科	休学				3	1	4	3		3	5	1	6	13
	通常	241	108	349	324	123	447	291	106	397	299	113	412	1,605
経営学部 経営学科 集計		241	108	349	327	124	451	294	106	400	304	114	418	1,618
スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科	休学				2		2				1		1	3
	通常	121	55	176	135	51	186	130	50	180	110	53	163	705
スポーツ・健康科学部 スポーツ科学科 集計		121	55	176	137	51	188	130	50	180	111	53	164	708
スポーツ・健康科学部 健康科学科	休学											1	1	1
	通常	71	37	108	62	53	115	55	31	86	54	40	94	403
スポーツ・健康科学部 健康科学科 集計		71	37	108	62	53	115	55	31	86	54	41	95	404
スポーツ・健康科学部 看護学科	休学		1	1	1	1	2		1	1	1	7	8	12
	通常	15	83	98	16	102	118	11	78	89	18	81	99	404
スポーツ・健康科学部 看護学科 集計		15	84	99	17	103	120	11	79	90	19	88	107	416
社会学部 社会学科	休学				2		2	1		1	1	1	2	5
	通常	105	73	178	128	104	232	110	110	220	129	98	227	857
社会学部 社会学科 集計		105	73	178	130	104	234	111	110	221	130	99	229	862
		1,893	1,172	3,065	2,171	1,252	3,423	1,836	1,053	2,889	1,902	1,056	2,958	12,335

4 2026年度学 年 暦

大東文化大学 (2026/4/1～2027/3/31)

大学評議会承認：2025年10月13日

日付	曜	期	板 橋	東 松 山
2026/04/01	水	前 期	学年始め	
2026/04/02	木			学生証交付(1年生)(4/2・3)(2日間)
2026/04/07	火		入学式(会場:東京国際フォーラム)	定期健康診断(4/7～11)(5日間)
2026/04/08	水		定期健康診断(4/8～11)(4日間)	
2026/04/13	月		前期授業開始	
2026/04/29	水		通常授業(昭和の日)	
2026/07/20	月		通常授業(海の日)	
2026/07/24	金		前期授業終了	
2026/07/25	土		前期試験等期間(7/25、27～31)(6日間)	
2026/07/29	水		スポーツ・健康科学部健康科学科、看護学科、文学部教育学科保育士課程 前期授業終了	
2026/08/03	月		前期試験等期間予備日	
2026/08/04	火		夏季休暇 8/4～9/15	
2026/08/05	水		前期追試験時間割発表	
2026/08/06	木		前期追試験 8/6・7(2日間)	
2026/09/04	金		卒業生発表	
2026/09/15	火		学位記授与式・卒業式	
2026/09/16	水	後 期	後期授業開始	
2026/09/20	日		創立記念日 103周年	
2026/09/21	月		通常授業(敬老の日)	
2026/09/22	火		通常授業(国民の休日)	
2026/10/12	月		通常授業(スポーツの日)	
2026/10/30	金		大東祭前準備 全学休講	
2026/10/31	土		大東祭 10/31・11/1(2日間)(会場 板橋) 全学休講	
2026/11/02	月		大東祭後片付け 全学休講	
2026/11/23	月		通常授業(勤労感謝の日)	
2026/12/24	木		冬季休暇 12/24～1/7	
2027/01/08	金		授業開始	
2027/01/15	金		臨時休講	大学入学共通テスト実施準備(東松山校舎) 臨時休講
2027/01/16	土		臨時休講	大学入学共通テスト(東松山校舎)(1/16・17) 臨時休講
2027/01/19	火		後期授業終了	
2027/01/20	水		後期試験等期間(1/20～23・25～26)(6日間)	
2027/01/26	火		スポーツ・健康科学部健康科学科、看護学科、文学部教育学科保育士課程 後期授業終了	
2027/01/27	水		後期試験等期間予備日	
2027/01/28	木		春季休暇 1/28～3/31	
2027/02/10	水		後期追試験時間割発表	
2027/02/12	金		後期追試験 2/12・13(2日間)	
2027/03/05	金		卒業・進級者発表	
2027/03/24	水		学位記授与式・卒業式(会場:東京国際フォーラム)	
2027/03/31	水		学年終了	

※休講に対する授業措置（補講）は、月曜日から金曜日の6限目または土曜日4限目以降に行うものとする。

ただし、当該科目の受講者が他の科目を受講することを妨げない範囲で、他の時限に補講を行ってもよい。

※スポーツ・健康科学部健康科学科、看護学科および文学部教育学科保育士課程は、厚生労働省による授業日数を確保している。

5 入学から卒業までの流れ

1. 学期

学期は前期（4月1日～9月15日）、後期（9月16日～翌年3月31日）の2学期に区分しています。
本年度の授業期間や試験期間は学年暦（前頁参照）をご覧ください。

2. 単位

大学教育における顕著な特色は単位制です。単位制はアメリカ合衆国由来の制度で、45時間の学習を1単位と計算します。45時間は、元来は1週間分の労働時間に相当しました。学業と労働を同等に捉えていたことに拠ります。講義科目の場合、1時間の教室内の授業に対し2時間の教室外の準備（自習）が必要であり、準備したことを前提として、半期15週であるため15時間の授業をもって1単位とカウントします。

ただし、大学の授業は90分であり、これは2時間とカウントされるため、講義科目で付与される単位数は2単位となります（自習の時間も2倍となり4時間が必要です）。演習科目の場合は、2時間の教室内の授業に対し、1時間の教室外の自習が必要であるとし、30時間の授業をもって1単位とカウントします。実験・実技・実習科目については、全て学内で学習が行われるものとして、45時間の授業をもって1単位とします。

科目の単位は先ず履修登録をして試験等の総合成績で合格の評価を得ることで付与されます。所属する学部・学科が定める要件に沿って授業科目を履修し、付与された単位を4年間かけて積算した結果、124ないし126単位に到達すれば卒業できるシステムになっています。

3. 授業科目と履修単位数

本学における授業科目の区分は基礎教育科目・専門教育科目・全学共通科目（※看護学科は、専門基礎科目・専門科目・総合基礎科目〔全学共通科目を含む〕）に大別され、それらの履修要件は学科ごとに規定されています。国際関係学部、スポーツ・健康科学部以外の学部の1・2年次は東松山校舎、3・4年次は主に板橋校舎で授業が実施されますが、東松山校舎での受講も可能です。なお、国際関係学部、スポーツ・健康科学部については、全学年を通じて東松山校舎で授業が実施されます。

各学科とも、学年ごとに系統的に授業科目が配当されており、1年間に履修できる単位数は学科によって異なりますが、概ね44～49単位となっています。

履修単位数上限一覧（2026年度入学生の場合）

学部	文						経済		外国語			法		国際関係		経営	スポーツ・健康科			社会
学科	日本文	中国文	英美文	教育	書道	歴史文化	社会経済	現代経済	中国語	英語	日語	法律	政治	国際関係	国際文化	経営	スポーツ科	健康科	看護	社会
1年生	44						44		48			48	44	44		44	44	48	48	44
2年生	44						44		48			48	44	44		44	44	48	48	44
3年生	44						49		48			48	44	44		44	44	48	48	44
4年生	49						49		48			49		48		48	49		48	44

4. 授 業

1) 授業全般及び対面授業

受講生数が少数であるほど教育効果が高くなることから、板橋校舎における授業の約4分の3を80名以下の少人数クラスにしています。東松山校舎（1・2年次）においては30～50名前後のクラス編成を基本にしており、少人数の度合いを更に高くしています。

本学の授業期間は、試験等期間などを含めると年間35週です。授業はそれぞれ週1回（90分）ずつ、年間30回実施します。祝日の関係で30回の授業回数が確保できない曜日については、祝日でも通常授業日と設定し、授業回数を確保します。また、交通機関の運行障害等想定外の事態が発生した場合等、やむなく授業を休講にすることがありますが、その際はその都度補講を実施します。

補講は、月曜日から金曜日の6時限または土曜日4時限以降に実施します。ただし、当該科目の受講者が他の科目を受講することを妨げない範囲で、他の時限や課題提出等に振り替えて実施することもあります。

授業時間帯（東松山校舎・板橋校舎共通）

1時限目	2時限目	3時限目	4時限目	5時限目
9:10～10:40	10:55～12:25	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15

2) 遠隔授業（オンデマンド形式授業）

本学では、対面形式の科目だけではなく、遠隔形式（多様なメディアを活用し、教室以外の場所でも授業を受講できる授業形式）の科目も開講しています。総授業回数の半分以上を遠隔形式で実施する科目を「遠隔授業科目」と呼び、本学では主にオンデマンド形式（動画や資料を所定期間配信して受講生の都合で授業動画を視聴できる形式）で授業を実施しています。

遠隔授業科目は、卒業要件として60単位を超えて履修することができません。学生には、DB PORTAL履修登録確認画面で、遠隔授業科目の履修・修得単位数を確認し、計画的に履修するよう指導しています。

なお、単位互換制度や海外・国内留学等により他大学等で修得した授業科目(単位)について、当該科目が遠隔授業科目であれば、その単位も含めて上限の60単位を超えないようにする必要があります。

5. 試験・評価

前・後期それぞれの学期末に試験等期間（前後期ともに6日間）が設けられています。試験としては試験等期間試験（対面式試験・オンライン式試験）のほかレポート提出によるものがあります。また、試験等期間前の授業中に試験が行なわれる場合もあり、必ずしも全授業科目一律で試験等期間中に試験が実施されるわけではありません。

なお、成績評価はシラバスに記載されている方法（授業参加度、試験、レポート課題等）により、下表のとおりS、A、B、C、D、Eで評価され、評価が「C」以上（60点以上）を合格とし、その授業科目に対し所定の単位が付与されます。

S	A	B	C	D	E
100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点以下	評価対象外
合 格				不合格	

注)「E」は授業の出席不良、試験未受験等により評価ができない場合の評価。

6. 学年毎のポイント

続いて学年毎の注意事項について、さらに細かく説明していきます。

【1年生】

1) ガイダンス

入学時各自から提出された書類に基づき、学籍原簿等が作成されます。これらは学生個々人の在学期間中における様々な記録が記されていく書類で、大学に永久に保存されていくものです。学生証が交付され、大学生としての生活が始まります。

大学生活の全般、履修すべき授業科目の登録の方法について、ガイダンスが実施され、細かな説明が行われます。説明動画や資料も配信され、これらを参考にして各自が一年間の時間割を組んでいきます。不明な点は職員に気軽に相談してください。

2) 履修登録

大学における履修とは、講義、演習、実験・実技・実習の授業科目を登録し、それぞれの授業を受講し、試験に合格し、所定の単位が付与される（修得する）ことを意味します。4月の定められた期間に、履修の第一歩である履修登録（Web 履修登録）の手続きを学生自身が行います。その年度に履修する全ての科目を登録します。登録していない科目は出席（受講）しても単位が付与されません。自分自身のことに慎重に対処することが重要になります。

3) 時間割

1週間の時間割は個人によって異なりますが、1日に受講する科目数は概ね2～3科目です。授業時間は90分（2時間とカウントする）ですが、5の2.「単位」（P. 9）で示したとおり、定められた時間の自習を行なう必要があります。単位制の考え方として、1単位付与されるための学業に要する時間は1週間の労働時間と同じでした。働いてこそ収入が得られるのと同様に、単位修得には学習が必要なのです。

高等学校までの答えが用意された問題を解いたり暗記したりするような勉強と異なり、大学での学問は必ずしも解答のない問題について自身の頭脳を悩ませ、考え抜いていくことが重要であり、そのような学問をしてこそ、大学を卒業する価値があります。大東文化大学には166万冊の蔵書を有する図書館があります。図書館には本や雑誌だけでなく、自由に使用できるPCも設置されています。この図書館を自習する場として活用してみたいかと思いますが、図書館で、自身の人生を方向付けるような本と出合えるかも知れません。図書館を基点に大学生活を送るというのも、有意義でしょう。

大学生活の出発点に当たる1年生においては、大学入学を果した解放感に浸りながらも、4年後の卒業に向けての単位修得も見据え、気を引き締める必要があります。大学生活には独特のリズムがあり、出来るだけ早くそのリズムをつかむ必要がありますが、そのためにはとにかく自分の時間割通りに授業に出席することが大切です。「大学に行くこと」そして「授業に出席すること」、この2点を心掛けたいものです。

4) 転学部・転学科

本学学則第31条に、本大学の学生で、他の学部又は学科へ移ることを願い出た者は、欠員があり、かつ学科が定める条件を満たす場合に限り、考査の上これを許可することがある、とあります。前提として、希望先の学部・学科に当該年度において受入れ枠がある場合に限り可能性がありますが、転学部・転学科するためには試験に合格しなくてはなりませんが、受験条件は各学科によって異なり、1年生でも認められたり、あるいは2年生に限られたり、試験方法についても語学のみの場合や、小論文、面接が課される場

合もあります。詳細については、東松山教務事務室または各学部事務室まで問い合わせ願います。

5) 試験と成績

7月の前期試験は、最初の関門です。授業に出席し、自習（予習・復習）をしていれば心配する必要はありません。日頃から講義ノートを整理し、自習の際に自身で調べたことや気づいたこと、考えたことをここに書き込んで頭の中を整理しておく、と、論述が求められる試験にもすんなり対応できるでしょう。

試験の終了後、各担当教員により付与された成績評価は、Web上（DB PORTAL上）から閲覧することができます。前期科目分の成績は9月上旬、後期科目・通年科目分は3月上旬よりそれぞれ公開されますが、閲覧にあたってはID・パスワードが必要となりますので以下の大学ホームページをご参照願います。なお、本学では郵送による通知は原則として行っておりませんのであらかじめご承知おき願います。

＜成績公開に関するページはこちら＞

URL : https://www.daito.ac.jp/to_parents/results_released.html



成績評価は、各科目の担当教員が作成した「シラバス（授業計画）」の「成績評価の方法・基準」における各評価方法の割合による総合的な算定結果に基づいています。

大半の学生が、年間40単位分程度の履修登録をしています。後期終了時点で今年度登録した科目全ての単位修得を目標にすることが肝要です。履修単位を大幅に下回る単位数しか修得できなかった場合は今後の進級にも影響してくる可能性があり、要注意です。緊張感をもって、学業に臨んでほしいものです。

試験等期間時間帯（東松山校舎・板橋校舎共通）

1 時限目	2 時限目	3 時限目	4 時限目	5 時限目
9 : 10～10 : 40	10 : 55～12 : 25	13 : 15～14 : 45	15 : 00～16 : 30	16 : 45～18 : 15

※試験等期間の時間帯は、通常の授業時間帯と同様です。

6) 生活指導

後期（9月16日より授業開始）を迎えると、学生も大学生活に慣れてきたと思われそうですが、夏季休暇を挟んで大学から遠ざかったこともあるため、生活のリズムを大学生活にリセットし、今一度、「大学に行くこと」そして「授業に出席すること」を意識付けすることが大切です。お子様と打ち解けた会話をもち、生活の状況を把握し、生活に乱れがあれば可能な限り早期に発見し、その場その場で対応を行なうことが大切です。

7) 臨地実習（看護学科）

看護学臨地実習は、看護職をめざす学生が、臨地において看護を実践することを通して、学内で学んだ知識・技術を統合すると共に、看護職としての基本的態度を修得するために欠くことのできない学修です。実習を通して、学生は対象者と関わり、看護することの喜びや充実感を感じながら、援助的人間関係を形成する能力、対象者の持つ看護上の問題を見出し、解決する能力などを修得すると共に、看護職としての役割や社会的責任なども理解できるようになります。大学教員が現場に常駐して、実習施設の指導者と連携を保ちつつ教育にあたるひとつのチーム・ティーチングとなっています。

1年次の臨地実習科目は、「基盤看護学実習Ⅰ」であり、指定された期間でグループ毎に臨地実習を行ないます。

8) 3年次進級に向けた成績取得単位数の振り返り

教育学科を除いた各学科には、2年生から3年生へ進級するための要件が設定されています。

進級不可とならないために、1年生終了時の修得単位数が1年間の履修制限単位数の半分未満（概ね20単位未満）の場合には、その原因について、学生自身が振り返り、認識する必要があります。

原因が認識でき、危機意識を抱くことができれば、2年生で挽回することも可能でしょう。他方、それが難しい場合、そのまま学習意欲を喪失してしまうケースが少なくありません。そのため、まだ1年生だからと楽観視せず、日頃の生活、延いては日頃の学習の様子について、注視していく必要があります。その意味でも、1年生の前期、後期終了時の成績、とりわけ単位修得状況は注意しても、し過ぎることはありません。

【2年生】

1) 進級要件

入学から1年を経過すると大学の年間行事を一通り経験したことになり、大学生活に対してある程度自信と余裕も出てきて、学年始めのガイダンスも五里霧中といった状態ではなくなります。

2年生になって、緊張感をもって意識していかななくてはならないことは、3年生への進級です。本学には、教育学科を除いて、各学部・学科に2年生から3年生へ進級する際に課せられる一定の条件があり、定められた科目及び単位数を修得していない場合進級できません。これを進級要件といいます。

各学科の進級要件は次のとおりです。

3年次進級に係る進級要件

学 部	学 科	3 年 次 進 級 要 件		
		進級要件(全体)	進級要件 (付帯事項)	備 考
文 学 部	日 本 文 学 科	40単位以上		
	中 国 文 学 科	44単位以上		
	英 米 文 学 科	44単位以上		
	教 育 学 科	無		
	書 道 学 科	44単位以上	指定科目6単位を含む	
	歴 史 文 化 学 科	44単位以上		
経 済 学 部	社 会 経 済 学 科	40単位以上	指定科目10単位を含む (留学生は更に指定科目4科目4単位)	
	現 代 経 済 学 科	40単位以上	指定科目14単位を含む (留学生は更に指定科目4科目4単位)	
外 国 語 学 部	中 国 語 学 科	30単位以上	専門教育科目の「必修科目」12単位を含む	
	英 語 学 科	40単位以上		
	日 本 語 学 科	36単位以上		
法 学 部	法 律 学 科	34単位以上	必修科目26単位を含む	
	政 治 学 科	36単位以上		
国際関係学部	国際関係学科	32単位以上		
	国際文化学科	32単位以上		
経 営 学 部	経 営 学 科	40単位以上	基礎教育科目の必修科目8単位を含む	
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 部	スポーツ科学科	44単位以上		
	健 康 科 学 科	44単位以上		
	看 護 学 科	71単位以上	必修科目71単位の修得が必須	4年次進級 要件あり
社 会 学 部	社 会 学 科	44単位以上		

進級要件に特定の科目の修得がある場合、優先して履修する必要があることは言うまでもありません。1年生に不合格で2年生に再履修する際は最優先で時間割に組込む必要があります。そして2年生で合格しないと進級できないとの緊張感をもって授業に出席し、自習に臨んでいくことが不可欠です。

2年生になると、所属する学部・学科の専門教育科目の科目数も増加します。いよいよ自分が所属する学部・学科の専門性のある学問が開始します。その意味で2年生は非常に大切な学年と言えます。

2) 成績不良者

何らかの理由で1年生の単位修得状況が芳しくなかった場合でも、この1年間で挽回し、3年生に進級することも不可能ではありません。進級要件に規定された対象科目の単位修得に傾注し、緊張感をもって授業に出席し、自習に励むことが必要です。

3) 進級判定

進級の判定は2年生の学年末、3月初旬に開催される各教授会で審議されます。進級者、留年者等が決定し、3月上旬の成績公開時にDB PORTALに表示します。

次に、昨年度の進級・留年者の状況は、下表のとおりです。(休学による留年は、留年者に含まない。)

2025年度 3年次進級・留年者数一覧

2026年3月31日現在

学 部	学 科	25/4/1 現在	26/3/31 現在	26/3/31 現在	26/3/31 現在	留年者数	休学者数
		学 生 数	退学者数 (含除籍)	学 生 数	進級者数		
文 学 部	日 本 文 学 科	210	11	199	186	10	3
	中 国 文 学 科	32	4	28	24	4	0
	英 米 文 学 科	104	4	100	96	3	1
	教 育 学 科	155	3	152	151	0	1
	書 道 学 科	64	3	61	58	2	1
	歴 史 文 化 学 科	101	4	97	95	1	1
経 済 学 部	社 会 経 済 学 科	295	4	291	263	24	4
	現 代 経 済 学 科	199	3	196	176	16	4
外 国 語 学 部	中 国 語 学 科	49	4	45	43	2	0
	英 語 学 科	235	14	221	210	8	3
	日 本 語 学 科	50	3	47	44	2	1
法 学 部	法 律 学 科	251	6	245	220	18	7
	政 治 学 科	144	2	142	130	9	3
国 際 関 係 学 部	国 際 関 係 学 科	117	1	116	113	3	0
	国 際 文 化 学 科	94	0	94	88	3	3
経 営 学 部	経 営 学 科	426	6	420	395	16	9
ス ポ ー ツ ・ 健 康 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	183	2	181	179	2	0
	健 康 科 学 科	89	2	87	86	1	0
	看 護 学 科	96	1	95	80	14	1
社 会 学 部	社 会 学 科	230	4	226	220	3	3
合 計		3,124	80	3,043	2,857	141	45

(2026年3月31日付退学者・除籍者を含む)

4) 演習授業(ゼミ)

高校までにはない大学ならではの授業として、各学部に演習授業(ゼミ)が開講されています。演習授業(ゼミ)は、3・4年生(経済学部は2・3年生)で開講される同一教員から指導を受ける授業科目で、各自が最も勉強したい専門分野のテーマを少人数の仲間達と共同して研究討論し、卒業論文やゼミ論文の作成などを行います。延いてはその活動を通じて、教員指導の下、同輩との切磋琢磨の中で人間形成を図る

うとするものです。演習授業（ゼミ）を受講するためには、受講者数の調整上事前に受け入れ試験などに合格しなければなりません。この試験は、文学部・法学部・経営学部では例年2年生の秋季に行なわれますが、その実施方法は各学科によって異なりますので連絡の見落としがないよう注意が必要です。

経済学部では、1年次に「基礎演習」（必修）を受講し、2年次開講「専門演習Ⅰ」、3年次開講「専門演習Ⅱ」への準備を行ないます。また1年次の後期においては、2年次で受講する「専門演習Ⅰ」を選択、決定する必要があります。「専門演習Ⅰ・Ⅱ」を履修した学生は、4年次で「卒業研究」（「専門演習Ⅰ・Ⅱ」と同一教員）を履修することが原則です。

外国語学部では、各授業が少人数編成になっているので、もともと演習授業（ゼミ）と同様の形式で授業が行なわれています。

国際関係学部では、2年生から演習授業（ゼミ）が開講されます。1年生の後期にゼミシラバスを参考にして、各自で教員の研究室を訪問し、説明・指導を受けた後、演習（ゼミ）を決定します。3年生の専門演習は4年生の卒業論文演習と連動していますので慎重に選択してください。

社会学部では、専門必修科目として開講している「社会学演習Ⅰ」、「社会学演習Ⅱ」を受講する前年度の後期に選択します。「社会学演習Ⅰ」と「社会学演習Ⅱ」では別の研究室に入室することが可能ですが、4年生で受講する「卒業研究」は「社会学演習Ⅱ」と同一教員より指導を受けます。

以上のとおり、演習授業は必修科目あるいは選択科目など学科によりその位置づけが異なり、修得せずに卒業することが可能な学科もありますが、出来る限り受講することをお勧めいたします。将来の人生について様々な示唆を受けるに違いありません。

5) 現地研修

文学部書道学科では授業科目「漢字文化実地演習」にて1週間程度の中国や台湾での海外研修、「日本文化実地演習」にて京都等での国内研修を設定しております。

法学部政治学科では「現代政治のイシュー（政治学現地研修）」として、フィールドワーク型の授業を実施しています。研修場所として沖縄・福島・東北（宮城県・岩手県）を訪れ、平和や安全保障、復興と防災の在り方などについて考えます。

国際関係学部では、2年次の授業科目として「現地研修」を実施しています。本科目は選択科目となっており、学生自身が選択した地域言語の海外協定校にて、約3週間の日程で研修を行うプログラムです。現地研修の費用については、為替レートや航空券代の変動などにより、年度によって異なりますので、あらかじめご留意ください。

社会学部ではマレーシア・台湾・オーストラリアでの海外研修、沖縄県・青森県での国内研修を設定しております。

6) 臨地実習（看護学科）

看護学臨地実習は、看護職をめざす学生が、臨地において看護を実践することを通して、学内で学んだ知識・技術を統合すると共に、看護職としての基本的態度を修得するために欠くことのできない学修です。実習を通して、学生は対象者と関わり、看護することの喜びや充実感を感じながら、援助的人間関係を形成する能力、対象者のもつ看護上の問題を見出し、解決する能力などを修得すると共に、看護職としての役割や社会的責任なども理解できるようになります。大学教員が現場に常駐して、実習施設の指導者と連携を保ちつつ教育にあたるひとつのチーム・ティーチングとなっています。

2年次の臨地実習科目は、「基盤看護学実習Ⅱ」と「老年看護学実習Ⅰ」であり、指定された期間でグル

ープ毎に臨地実習を行います。

7) 保育実習（教育学科 保育士課程）

保育実習は、学内での学びを現場で実践的に統合し、保育職としての専門的態度を修得する不可欠な学修です。子どもとの関わりを通じ、援助的人間関係の形成や課題解決能力、社会的責任を理解します。2年次の2月～3月には、板橋区立保育園や近隣施設において、各施設1～2名の少人数体制で自律的な学びを深める「保育実習Ⅰ」を実施します。実習中は教員が巡回指導や個別相談を行い、現場と連携して学生を全面的にサポートします。

【3年生】

1) 専門課程

3年生は、勉学上大学生生活4年間のうちで最も充実した時期となります。各自の所属する学科の中核となる様々な授業科目を履修することになります。演習関係の授業は少人数編成を採っていますが、1・2年生における全体的なクラス編成と違い、3・4年生における各自の時間割作成は、かなりの範囲にわたり自由な選択に委ねられます。

2) 卒業論文等の作成準備

文学部では、日本文学科、中国文学科の2学科が卒業論文を、書道学科、歴史文化学科ならびに社会学部では卒業研究を必修としており、それぞれ3年生の5～6月頃に卒業論文の作成についての説明会が実施されます。実際の卒業論文の提出期日は4年生の12月ですが、3年生のうちからその作成計画を立て始める必要があります。外国語学部日本語学科では、卒業研究を必修としており、卒業論文の提出期日は4年生の1月です。また、国際関係学部でも卒業論文を必修としています。

経済学部、法学部、経営学部の演習授業（ゼミ）における論文作成は、学則の上では必修の扱いではありませんが、論文作成を単位認定の必要条件として課す演習授業（ゼミ）が少なくありません。このため、ゼミで作成する論文も卒業論文に相当するものと言えるでしょう。

3) 就職準備

ある程度しっかりした人生観を持ち得る年代であり、漠然とはしていても人生に対する好奇心、批判、懷疑などが自己の勉学姿勢に反映し、ただ漠然と授業に出席するということではなく、あくまでも主体的に授業に取り組む姿勢が出てくる筈です。それと同時に卒業後の各自の進路についてある程度明確な考えを持つようになり、その必要も出てきます。

4) 臨地実習（健康科学科）

医療施設の臨床検査部門において実施される臨地実習は、学内で学んだ講義や実習だけでは習得出来ない患者さんの対応（接遇）と患者さんの検体材料の測定成績が得られ、臨床医に提出される迄の流れについて学習します。また同時に医療における医療チームの一員としての責任と自覚、他職種との連携の必要性に加えて、専門職としての学習習慣や研究態度等も現場指導者から積極的に学びます。臨地実習施設は、充実した職員の配置と設備を有し、指導体制の整った東京都内、神奈川、栃木、埼玉県内の大学附属病院や総合病院、医師会病院、日本赤十字病院など約30の施設で実施を予定しています。

臨地実習期間は約8週間で、3年次後期に集中的に実施され、本学では1月中旬から3月中旬に計画されています。もちろん臨地実習開始前には、学内において臨地実習の目的と意義・心構え・履修方法・実習

指導体制・留意事項等についてガイダンスを行い、実習がより効果的に展開されるよう、必要な準備・指導を行ないます。

5) 臨地実習（看護学科）

看護学臨地実習は、看護職をめざす学生が、臨地において看護を実践することを通して、学内で学んだ知識・技術を統合すると共に、看護職としての基本的態度を修得するために欠くことのできない学修です。実習を通して、学生は対象者と関わり、看護することの喜びや充実感を感じながら、援助的人間関係を形成する能力、対象者のもつ看護上の問題を見出し、解決する能力などを修得すると共に、看護職としての役割や社会的責任なども理解できるようになります。大学教員が現場に常駐して、実習施設の指導者と連携を保ちつつ教育にあたるひとつのチーム・ティーチングとなっています。

3年次の臨地実習科目は、「成人看護学実習Ⅰ」「成人看護学実習Ⅱ」「老年看護学実習Ⅱ」「小児看護学実習」「母性看護学実習」「精神看護学実習」「地域・在宅看護学実習」であり、指定された期間でグループ毎に臨地実習を行います。

6) 保育実習（教育学科 保育士課程）

保育実習は、学内での学びを現場で実践的に統合し、保育職としての専門的態度を修得する不可欠な学修です。子どもとの関わりを通じ、援助的人間関係の形成や課題解決能力、社会的責任を理解します。2年次の保育実習の発展として、3年次の夏以降は「保育実習Ⅱ・Ⅲ」として、自ら選定した実習先でより専門的な実践力を養います。実習中は教員が巡回指導や個別相談を行い、現場と連携して学生を全面的にサポートします。

【4年生】

1) 卒業要件

大学を卒業し、学士の学位を得るためには、本学では各学科共4年間以上在学し各学科の所定の単位を取得しなければなりません。なお、在学期間は8年を超えることはできません。

また、卒業要件単位数は124単位、126単位と各学科で異なり、さらに、年間の履修単位数の上限も異なっています(P.9参照)。

この卒業要件単位数は文学部日本文学科を例にとって説明すると、44(単位)×3(年間)=132(単位)となり、数字のうえでは3年生終了の時点ではほぼ満たされるわけです。すなわち1～3年生で勉学状態を順調に維持してきた学生であれば、4年生の場合卒業までにあと数科目を残すのみといった状況になるでしょう。

しかし、大学の授業科目の配当は4年間にわたって行なわれており、4年生で履修すべき科目が設置されている学科が少なくありません。例えそれが卒業するために必要な科目ではなくても、残りの単位はこれらの4年生配当科目を数科目履修することが大学の教育課程を全うするための原則といえます。

一般的に4年生における履修科目数は、3年生までのそれと比較して減少しますが、一部の学生は卒業要件を満たすために多くの科目を履修する場合があります。また、3年生終了の時点ですでに教員免許状や司書資格の取得を断念しなければならない事態に陥っている学生もいます。

なお、教員免許状を取得したい場合は、学士の学位を取得することに加えて、卒業までに「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目」等の単位も併せて取得しなければなりません。次に、各学部・学科の履修ならびに卒業要件の一覧表を掲載します。

【卒業要件／２０２６年度入学生用】

注) 2025 年度以前の入学生は、１年次に配付された『履修の手引』等で確認してください。

学 部	学 科	基礎教育科目			専門教育科目					全学共通科目			選択科目	合計 単位
		必修 科目	選択 必修 科目	選択 科目	必修 科目	選択 Ⅰ	選択 Ⅱ	選択 必修 科目	選択 科目	必修 科目	選択 必修 科目	選択 科目	(A+B+C+D)	
文学部	日本文学科		8	A	18			40	B	2		C	56	124
	中国文学科	8	4	A	28			40	B	2		C	42	124
	英米文学科	22	4	A	8			32	B	2		C	56	124
	教育学科		8	A	20			56	B		8	C	32	124
	書道学科	10	4	A	15			40	B			C	55	124
	歴史文化学科		8	A	18			44	B	2		C	52	124
経済学部	社会経済学科	8	8		8	12	12	36				12	52	124
	現代経済学科	10			10	12	12	36				12	56	124
外国語学部	中国語学科	8		A	22			40	B		12	C	42	124
	英語学科													
	(英語コース)	26	10	A	28			30	B		12	C	18	124
	(ヨーロッパ2言語コース)	26	16	A	28			26	B		12	C	16	124
	日本語学科	2	0	A	26			44	B		12	C	40	124
法学部	法律学科	10		A	30			64	B	4	6	C	10	124
	政治学科	8		A	8			74	B	4	16	C	14	124
国際関係学部	国際関係学科	4		A	10			70	B+C			D	40	124
	国際文化学科	4		A	10			70	B+C			D	40	124
経営学部	経営学科	8	2	A	12			36	B			C	66	124
スポーツ・健康 科学部	スポーツ科学科	16	2	A	8				66+B	2		C 8以上	30	124
	健康科学科	20		A	24				47+B	2		C	31	124
	看護学科	専門基礎科目			専門科目					総合基礎科目(全共含む)			選択科目	合計 単位
		必修 科目		選択 科目	必修 科目				選択 科目	必修 科目		選択 科目	(A+B+C+D)	
		30		3	70				3	10		10	—	126
社会学部	社会学科	8	4	A	28			48	B	2	4	C	30	124

注１) 文学部教育学科を除く各学部・学科には別途進級規程がある。(P. 14参照)

注２) スポーツ科学科生は、全学共通科目(総合体育A・Bを含めず)から８単位以上を取得しなければならない。

注３) 次の学部は、専門教育科目の最低取得単位数が定められている。

① 経済学部生は、専門教育科目から７４単位以上取得すること。

② 法学部生は、選択必修科目の各カテゴリーから指定された単位数以上を必ず取得すること。

③ 経営学部生は、専門教育科目から８４単位以上取得すること。

注４) 外国人留学生(日本語学科を除く)はこの限りでない。

① 経営学部の外国人留学生は、１２６単位以上取得しなければならない。

2) 卒業判定

卒業判定教授会は、例年3月初旬に各学部別に行われます。判定結果は、3月上旬の成績公開時に DB PORTAL に表示します。なお、学部・学科によっては、卒業保留となった者の中から一定の基準内にいる者に対し、再試験を実施する場合があります。

以下は、過去6年間の卒業・留年状況と前年度の卒業判定結果です。

年度別卒業・留年状況一覧

2026年3月31日現在

区分	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
卒業生数	2,499	2,689	2,543	2,529	2,565	2,373
留年生数 (含休学者)	281	211	200	232	257	253
合 計	2,780	2,900	2,743	2,761	2,822	2,626
留年比率	10.11%	7.28%	7.29%	8.40%	9.11%	9.63%

2025年度 学科別卒業判定結果一覧

2026年3月31日現在

学 部	学 科	3月 卒業生数	9月 卒業生数	留年生数	休学者数	退学(除籍)者数	合 計
文 学 部	日 本 文 学 科	138	0	11	0	10	159
	中 国 文 学 科	30	1	3	2	6	42
	英 米 文 学 科	95	2	7	1	2	107
	教 育 学 科	105	2	12	1	4	124
	書 道 学 科	58	0	1	4	2	65
	歴 史 文 化 学 科	67	1	7	1	5	81
経 済 学 部	社 会 経 済 学 科	179	7	20	2	3	211
	現 代 経 済 学 科	132	5	17	2	3	159
外 国 語 学 部	中 国 語 学 科	56	1	8	1	1	67
	英 語 学 科	164	8	16	3	10	201
	日 本 語 学 科	39	2	4	3	2	50
法 学 部	法 律 学 科	195	8	16	3	6	228
	政 治 学 科	139	3	12	5	5	164
国 際 関 係 学 部	国 際 関 係 学 科	79	3	14	4	2	102
	国 際 文 化 学 科	71	0	5	2	1	79
経 営 学 部	経 営 学 科	340	7	26	7	4	384
ス ポ ー ツ ・ 健 康 科 学 部	ス ポ ー ツ 科 学 科	138	2	4	2	0	146
	健 康 科 学 科	79	1	2	1	1	84
	看 護 学 科	98	0	9	3	1	111
社 会 学 部	社 会 学 科	171	0	9	3	0	183
合 計		2,373	53	203	50	68	2,747

7. GPA

GPA (Grade Point Average) とは、履修登録した科目の成績を 4 から 0 までの点数に置き換えて単位数を掛け、その合計を履修総単位数で割った 1 単位あたりの平均点です。日本の多くの大学をはじめ世界各国の大学でも使用されている学修成果指標です。

学修の達成度をより明確に示し、自らの履修に責任を持ち、履修申請した科目を意欲的に学修することを目的としています。

1) GPA の算出方法 (不合格科目も対象)

$$\text{GPA} = \frac{(\text{当該科目の単位数} \times \text{履修科目の GP}) \text{ の総和}}{\text{GPA 算出対象科目の履修総単位数}}$$

成績	S	A	B	C	D	E
Grade Point(GP)	4	3	2	1	0	0

算出例

科 目	単位数	成績	GP	単位数 × GP
〇〇〇基礎講座	2 単位	S	4	2 × 4 = 8
〇〇概論〇	2 単位	B	2	2 × 2 = 4
〇〇〇講読〇	2 単位	D	0	2 × 0 = 0
総合体育〇	1 単位	A	3	1 × 3 = 3
日本国憲法	2 単位	A	3	2 × 3 = 6
合 計	9 単位			21

$$\text{GPA} = 21 \div 9 \text{ 単位} = 2.33 \quad (\text{小数点以下第 2 位まで算出})$$

※GPA の最高値は 4.00 となります。

2) GPA 算出の対象科目

GPA 算出の対象科目は、本学で履修登録した全ての卒業要件対象科目 (外国人留学生科目も含む) とし、諸資格科目等および本学以外で取得し卒業要件として認定された科目 (N 評価科目等) については、算出対象外とします。

3) GPA の種類と表示

GPA は、成績公開時に DB PORTAL にて表示し、成績証明書には表示しません。

4) 不合格 (D, E) となった科目の GPA 算出について

成績評価が不合格 (D, E) と判定された科目については、GP=0 として GPA 算出に含まれます。

しかし、再履修することで最新の成績に基づいて GPA が算出され、GPA を回復させることができます。

(※GPA 算出時は、最新の成績だけでなく、当初の不合格判定の成績も含まれるため、GPA が回復しないこともあります。) 成績評価が合格 (S, A, B, C) と判定された科目の再履修は、できませんので注意してください。

5) GPA 算出に伴う履修取消制度について

GPA 算出に伴う履修取消制度とは、履修登録した科目について「授業の内容が期待したものと違っていった」「このまま履修を続けるよりも他の科目に集中したい」などの理由により履修を断念した時、指定された取消期間内に申請することで、その科目を GPA 算出から除外するものです。但し、申請できない科目もあります。

履修を取消せずに自ら履修を放棄した場合は、成績評価が不合格と判定され、GP=0 として GPA に含まれ、GPA を下げる結果となりますので十分注意してください。

履修取消は、履修を削除するものではなく、GPA 算出対象から除外するものであり、当年度履修単位数は変わりません。よって、代わりに他の科目を履修に追加することはできません。また、一度取り消すと復活はできませんので注意してください。

【履修取消期間】

- ・ 前期・通年科目 5 月中の一定期間
- ・ 後期 10 月～11 月中の一定期間

※期間は毎年度変わるので、年度ごとに確認してください。

【履修取消手続きの方法】

上記期間前に、学部事務室・東松山教務事務室より DB PORTAL にて手続き方法を連絡します。履修取消が必要な場合は、所定の手続きを行ってください。

【履修取消申請ができない科目】

- ・ 事前に学部事務室・東松山教務事務室に申請して履修登録する科目（事前登録科目等）

8. 「Daito BASIS」 科目

「Daito BASIS」科目とは、大東文化大学の「建学の精神」と「教育の理念」に基づいた、大東文化大学の学生として身に付けていただきたい能力と人格（「大東学士力」）を培うために、大学として皆さんに履修することを推奨する教育基盤科目のことです。

「大東学士力」

- （１）地球的規模の視野と感覚を持ち、異文化への理解力・共感力、コミュニケーション能力を持ち、諸問題の解決に貢献できる。
- （２）豊かな人間的教養と高度な専門的知識・技術を持ち、現代社会の諸問題にチャレンジできる。
- （３）修得した専門的知識と技能を使って、社会の中核・中堅として、その発展に貢献する意欲と能力を持っている。
- （４）自分の意見を持ち、それを適切に表現し、他者と協力・共同する能力を持っている。
- （５）大東人として、また人間としての誇りと自信、社会の担い手としての強い使命感・モラルを持ち、行動できる。

Daito BASIS 科目は、下記のⅠ～Ⅳに掲げる目的ごとに、科目が指定されています。Ⅰ、Ⅲ、Ⅳは、全学共通科目の中から選択して履修する科目です。学部開設のⅡには、「必修科目」が含まれている学科もあります。

Daito BASIS 科目一覧

Ⅰ 人間性の涵養：人間としての感性をはぐくみ伝統的文化や価値を学ぶ						
学部	学科	科目名	単位数	配当年次	開講	備考
(全学部・学科共通)		芸術学（書道入門）	2	1	半期	全学共通科目 基本科目 A 系 人間と文化（人文系）
		芸術学（書道中級）	2	1	半期	
		自己・人間を見つめる （論語 A）	2	1	半期	全学共通科目 課題テーマ科目 第 6 群
		自己・人間を見つめる （論語 B）	2	1	半期	
		自己・人間を見つめる （現代の大学 A）	2	1	半期	全学共通科目 課題テーマ科目 第 6 群
		自己・人間を見つめる （現代の大学 B）	2	1	半期	
Ⅱ 国際性の確保：国際的コミュニケーション能力の基礎力を確保する 各学部の「履修の手引き」を参照してください。						
Ⅲ 社会人基礎力の養成：生涯を視野に入れた社会人としての基礎力を養成する						
学部	学科	科目名	単位数	配当年次	開講	備考
(全学部・学科共通)		キャリアデザイン （キャリアと教育）	2	1	半期	全学共通科目 課題テーマ科目 第 7 群
Ⅳ 心身の基礎力の養成：社会人としての心身の基礎力を育成する						
学部	学科	科目名	単位数	配当年次	開講	備考
(全学部・学科共通)		総合体育 A	1	1	半期	全学共通科目 基本科目 D 系 健康とスポーツ（保健体育系）
		総合体育 B	1	1	半期	

9. 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、各教育課程の根幹となる 3 つのポリシー（ディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、アドミッション・ポリシー（AP））に基づき、教育課程の体系をより明確かつ容易に理解できるように、科目分野、水準、履修順序、授業形態等を表すコードを付して、教育課程の構造を示すものです。授業科目に記号と番号を振り、授業の難易度、位置づけ、履修順序を明確にすることによって、どのような目的で科目を履修するのか、どの科目から履修していくのがよいのかを理解することを目的としています。本学では、2019 年度から全ての学部・研究科等でこの制度を導入しています。

各授業科目に付番されている科目ナンバリングコードは、本学 Web シラバスに一覧表を掲載していますので、そちらをご覧ください。

「科目ナンバリングについて」掲載URL：

<https://www.daito.ac.jp/information/open/college/numbering/list.html>



本学における科目ナンバリングコードは、英字と数字の 12 桁の組み合わせによる構成となっています。

<u>1 1 1</u>	<u>B B B B</u>	<u>1 2</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>C</u>
①	②	③	④	⑤	⑥

【例】「東洋史史料演習」の科目ナンバリングコード

1 1 6 H I A A 1 2 3 2 J

⇒歴史文化学科／アジア史およびアフリカ史関連
／史料研究／学部 3 年次レベル／演習／日本

※①～⑥は、それぞれ以下の内容を表しています。

- ① 授業開設部局コード
- ② 学問分野コード
- ③ 科目内容コード
- ④ レベル・水準コード
- ⑤ 授業形態コード
- ⑥ 使用言語コード

①授業開設部局コード（数字 3 桁）

授業がどの部局で開設されているかを示しています。

コード	授業開設部局名称	コード	授業開設部局名称	コード	授業開設部局名称
1 1 0	文学部	1 4 0	法学部	9 1 0	全学共通科目
1 1 1	日本文学科	1 4 1	法律学科	9 2 0	教職課程センター
1 1 2	中国文学科	1 4 2	政治学科	9 3 0	国際交流センター
1 1 3	英米文学科	1 5 0	国際関係学部	9 4 0	単位互換
1 1 4	教育学科	1 5 1	国際関係学科	9 5 0	高大連携
1 1 5	書道学科	1 5 2	国際文化学科	9 6 0	副専攻
1 1 6	歴史文化学科	1 6 0	経営学部	9 9 0	その他
1 2 0	経済学部	1 6 1	経営学科		
1 2 3	社会経済学科	1 8 0	スポーツ・健康科学部		
1 2 4	現代経済学科	1 8 1	スポーツ科学科		
1 3 0	外国語学部	1 8 2	健康科学科		
1 3 1	中国語学科	1 8 3	看護学科		
1 3 2	英語学科	1 9 0	社会学部		
1 3 3	日本語学科	1 9 1	社会学科		

②学問分野コード（英字4文字）

③科目内容コード（数字2桁）

学問分野と科目内容を表しています。詳しくは本学ホームページ掲載の「学問分野分類コード一覧表」をご覧ください。

NO	学類	分野和名	分野英語名	学問分野コード	科目内容コード	科目内容
1	大学関連	大学独自項目	Original subjects	ORSU	00	基礎演習（フレッシュマンセミナー含む）
2					01	ゼミナール
3					02	論文指導科目
4					03	卒業論文、修士論文、博士論文
5					04	体育実技科目
6					05	教職関連科目
7					06	保育士関連科目
8					07	諸資格科目 （司書・司書教諭、 社会教育士、学芸員）
9					08	留学生科目
10					09	キャリア科目
11						

④レベル・水準コード

授業のレベル（水準）を表しています。

コード	授業形態
1	学士課程の4年間で学修する内容において、入門的・導入的位置づけの科目（学部1年次レベル）、全学共通科目
2	学士課程の4年間で学修する内容において、発展的・応用的内容を扱う科目（学部2年次レベル）
3	学士課程の4年間で学修する内容において、実践的・専門的に高度な内容を扱う科目 （学部3年次レベル）
4	学士課程で学修する最終段階の水準の科目（学部4年次レベル）
9	その他（認定科目、上記1～4でのレベル分けが困難な科目など）

⑤授業形態コード

科目が主としてどの授業形態で行われているかを表しています。

コード	授業形態
1	講義
2	演習（論文指導を含む）
3	実習（インターンシップを含む）
4	実験
5	実技

⑥使用言語コード

科目が主としてどの言語で授業が開講されているかを表しています。

コード	使用言語
J	日本語
E	英語
C	中国語
F	その他の言語

※科目ナンバリングコードは、科目の内容を表す番号であるため、複数の科目において同一のコードが付番されている場合があります。

10. 「DP・AG 修得度グラフ」・「学修プラン（入学者ポートフォリオ）」

1) 「DP・AG 修得度グラフ」

当該グラフは、学生が大学に入学してから卒業の前年度まで、修得した授業科目・成績評価によって、専門科目の DP(学位授与方針)と全学共通科目や教職諸資格科目などの AG (到達目標)について、どれだけの学力が積み上げられたかを表したグラフであり、毎年度末(履修登録前)に学生個々に配付しています。

レーダーチャートと棒グラフ形式で、学生個々の DP・AG 修得状況(積み上げ状況)と、所属する学科・学年の平均値を表示しています。グラフを参考に大学の授業における学修過程の振り返りと、今後の学修計画に役立てもらうようにしています。

なお、当該グラフは、参考資料として配付しており、学生の卒業可否や評価に関係するものではありません。

2) 「学修プラン（入学者ポートフォリオ）」

ポートフォリオとは、一般的に「個人の活動を記録するもの」という意味があります。本学では、学修支援システム(DBmanaba)の学生個々の「ポートフォリオ」ページに、①学生個々の学修プラン、②授業で作成したレポートや課題・小テスト等、③学習成果を可視化した「DP・AG 修得度グラフ」等を蓄積しています。ポートフォリオを活用することで、いつでも目標の確認や、振り返りができ、学修をより計画的、能動的、効果的に進められることが期待できます。また、就職活動などで自身の能力や経験をアピールする際にも役立ちます。

1 年生には、入学手続き時に合格者サイトより、①1 年次の目標(勉学・学生生活等)、②在学中に成し遂げたいこと(勉学・社会活動等)、③卒業後の目標の3 項目の学修プランを登録してもらっています。毎年度6 月以降に当該学修プランを学生に返却し、卒業までの4 年間を充実させるために、役立ててもらっています。

なお、当該学修プランは、大学の教職員が学生指導のために閲覧することがありますが、参考資料として配付するものであり、学生の卒業可否や評価に関係するものではありません。

11. 学習面における「生成 AI」の使用について

昨今の生成 AI の急速な発展・進歩により、教育の場における活用用途も広がっています。一方で、発展途上の技術でもあり、多くの問題点やリスクを抱えているのも事実です。そのため、生成 AI を利用する際には、長所と短所を理解した上で慎重に活用することが大切です。

大学の授業におきましても、学生が生成 AI の力を学習・研究活動の成果(レポート・試験答案・論文等)として、そのまま安易に利用することのないよう、指導しています。

具体的には、生成 AI の原理や、学修・研究面での生成 AI 利用に関する留意事項をまとめた動画を作成し、大学ホームページ上に公開すると同時に、1 年生の基礎演習等の授業において周知徹底、及び注意喚起を行っています。

なお、ネットワーク社会で学生が被害を受けない、トラブルを起こさないための必要な知識、法律、マナー等を身につけるための情報倫理に関する e-Learning 教材を、DBmanaba より、いつでも受講できるようにしています。